

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第6期第3回相模原市緑区区民会議				
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802(直通)				
開催日時		令和3年2月12日(金)15時~16時45分				
開催場所		緑区合同庁舎4階 集団指導室 一部参加者はオンライン参加				
出席者	委員	21人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	16人(緑区長、緑区副区長、緑区役所区政策課長、他13人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 中山間地域における現状について (2) 中山間地域における魅力の抽出について 3 その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。() は会長の発言 () は委員の発言 () は事務局の発言)

1 開会

牧瀬会長の司会進行により、議事が進められた。

会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開、配布資料の確認を行った。
また、傍聴希望者の報告を行った。

2 議題

(1) 中山間地域における現状について

事務局から資料1「中山間地域における現状について」に基づき、説明を行った。

< 意見交換 >

中山間地域における地域コミュニティの活動については、資料に掲載されているもの以外にも多くあるため、区でも調査した上で周知してもらえると良い。
また、次年度は地域活性化事業交付金()の予算も例年より少なく、限られた予算であることから、申請のあった事業内容を事務局にて厳しく精査していただきたい。

()地域団体が地域活性化に向けた取組を行う際に市から交付金を受ける事業本日紹介しきれなかった地域活動については、次回以降の会議で紹介していきたい。なお、地域活性化事業交付金に関しては、事業内容の精査をした中で、より効果的なものを選定して取り組んでまいりたい。

空き家の状況や児童数の推移等、今後の議論に必要なと思われるデータで、感覚的な認識に対する裏付けとなるようなデータを提示いただくことはできるのか。

次回の会議までに、議論に必要なデータを可能な限り用意したい。

令和3年1月末までの藤野の転入に関するデータについて、相談数117件、移住者は約40名だった。子育て世代が圧倒的に多く、ここ最近に関してはテレワークで働いている方が多い印象である。(情報提供)

2月9日に発表された「買って住みたい街ランキング(首都圏版)」で橋本が11位になった。相模原市が注目されているということだと思う。(情報提供)

(2) 中山間地域における魅力の抽出について

資料2「事前調査とりまとめ一覧」を基に、中山間地域における魅力と理想像について、グループワークで議論をした。

<各班の発表内容>

【1班】

魅力としては、都市からの距離、観光資源、子育て環境という意見が出た。

○気軽に遊びに行くことができる2拠点生活の拠点として緑区中山間地域を選んでいただき、それを機に移住してもらえたら良い。

【2班】

魅力としては、水と緑という意見が出た。山があるということから、景色がいい、水源がある、災害にも強いという魅力につながっているのではないかと。また、5つの湖やキャンプ場があり、観光のポテンシャルも高いのではないかと。

○地域内の小回りの利く交通網の整備をすることで、今ある魅力を最大限に活かしていけるのではないかと。

【3班】

魅力としては、都会に近くて自然が豊かであること。

○新しい生活様式として、古民家ツアー、IT、グリーンスローモビリティ等、自然の中でできる新しいことを提案していくことが大切ではないかと。また、伝統イベントが多く残っているため、それらを活かしていくことも大切だと思ふ。

【4班】

魅力としては、自然・住宅環境・仕事のバランスがいいことが挙げられた。

○ダブルワークや気軽バケーション等、自然を活かした新しい生活スタイルの提案・発信が必要ではないかと。心身の健康や生活費の軽減等の効果がでる可能性もある。また、野菜作りを家庭ですること、食育や地域コミュニティの形成にも繋げることができる。

緑区の中山間地域には、有形及び無形の魅力が多くあることが今回の議論で改めて認識できた。しかし、データ上は人口減少等が進んでいる状況であり、今回の議論とのギャップが見られる。今後必要になってくるのは、客観（データ）の満足ではなく、主観の満足かもしれない。データだけにとらわれるのではなく、データでは見えない部分も大切なのではないかと。

今回の議論においては、緑区を何とかしたいという方向性は全員一緒であったが、同じ方向に向かう道にも様々な道があることが分かった。区民会議では方向性をしっかりと定めた上で、様々な道を探っていけたらいいのではないかと。

3 その他

次回会議は、令和3年5月7日（金）の開催を予定。

4 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	森 誠壽	橋本地区まちづくり会議 副代表	出席
	佐藤 金男	大沢地区まちづくり会議 代表	出席
	大参 正人	城山地区まちづくり会議 代表	欠席
	熊谷 弘	津久井地区まちづくり会議 代表	出席
	長谷川 兌	相模湖地区まちづくり会議 代表	出席
	宮野善三郎	藤野地区まちづくり会議 代表	出席
関係団体	今井 俊昭	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 副会長	出席
	中里 浩章	相模原市立小中学校 P T A 連絡協議会 会長	出席
	原 正弘	相模原商工会議所 常議員	出席
	名久井孝昭	津久井地域商工会連絡協議会 会員	欠席
	吉野 賢治	一般社団法人相模原市観光協会 副代表理事	出席
	梅津 賢一	公益社団法人相模原青年会議所 専務理事	出席
	久保 武史	公益社団法人津久井青年会議所 副理事長	出席
	佐藤 鉄郎	相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会 事務局長	出席
学識経験者	星 和美	特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ 理事長	出席
	牧瀬 稔	関東学院大学法学部 准教授	出席
	池田 寛二	法政大学多摩地域交流センター長 (法政大学社会学部 教授)	出席
区民	深谷 信介	東京大学大学院都市デザイン研究室 (名古屋大学未来社会創造機構客員准教授)	出席
	吉良奈美乃	公募委員	出席
	鈴木 千景	公募委員	出席
民間事業者	森本 誠一	公募委員	出席
	山本 篤史	株式会社 K A D O K A W A 生活実用第 4 編集課副編集長	出席
	西山 尚孝	相模湖リゾート株式会社 代表取締役社長	出席
	佐藤 賢策	東日本旅客鉄道株式会社橋本駅 駅長	欠席
民間事業者	中原 正貴	神奈川つくい農業協同組合 經濟部 営農経済課長	欠席

は会長、 は副会長